

分類	No	項目名	記載内容	評価基準	配点
基本事項	1	基本方針	本業務実施の背景・目的を踏まえ、基本的な考え方や取り組み姿勢、他社と比較した優位点、期待される支援効果について記載すること。	新たな価値創出に向けて、企業の意思決定のあり方を変えるという本質的な目的の達成に資する提案であるか。	10
	2	実施体制・スケジュール・プロジェクト管理	どのような体制及び人員で実施するのかを記載し、本業務の責任者を含めた実際に携わる者ごとに、役割、経歴、本業務に関連する実績、特記事項等を明らかにすること。併せて、業務スケジュール、進捗管理の方法、課題発生時の対応方針を記載すること。	本事業の目的達成のため、十分な実施体制及び適切な人員配置が採られているか。	5
				各工程に応じた現実的なスケジュール、進捗管理、課題発生時の対応方法が具体的に示されているか。	5
	3	類似業務の実績	提案者実績調書（様式2）に、令和3年4月1日以降に元受けとして受託した類似業務の実績を記載すること。	仕様書及び契約書等の写しを元に類似業務と判断できた業務の件数に応じて評価する。	5
	4	提案価格	本業務にかかる全ての経費について、詳細な項目、内訳、金額等を見積もること。	提案価格を相対的に評価する。	5
業務内容	5	本事業の応募促進、支援対象企業の選定に関する業務	市内中小企業がデータ活用の必要性を認識し、応募意欲を高めるセミナーの企画案を記載すること。また、支援対象企業2社を選定するための基準を記載すること。	本事業の認知・理解向上及び応募意欲の喚起に繋がる内容か。また、支援期間内に成果創出が見込まれ、かつ他社への波及効果も期待できる企業を、論理的かつ実効性のある基準で選定できる内容か。	10
	6	経営層の意識醸成および合意形成	DX・データドリブン経営がもたらす中長期的な付加価値向上について、具体的な事例を用いて経営層の理解と納得を得るための説明手法を記載すること。また、データ活用によって解決すべき経営課題をどのように特定し、その優先順位について経営層の合意を得るか、そのプロセスを記載すること。	支援開始初期段階において、経営層の意識醸成及び合意形成が見込まれる内容となっているか。	10
	7	個別伴走支援業務 現状把握と取組テーマ・活動計画の策定	経営課題に関連する業務の現状把握や取組テーマ選定に向けたプロセスと手法、活動計画の内容について具体的に記載すること。	経営層や現場の実態を踏まえ、現状把握や取組テーマ選定のプロセスや手法、活動計画の内容が具体的で実効性があるか。	10
	8	データ活用基盤並びに改善の仕組み構築	散在するデータの整理手法、可視化・分析方法の考え方、必要に応じたツールの選定方針、及び既存の会議体を活用したPDCAサイクル（分析・施策検討・実行・検証）の具体的な設計・運営支援策を記載すること。	企業が自らデータを整理・抽出し、要因分析と意思決定に繋げる自律的な判断能力を養うための支援手法が具体的に示されているか。また、既存の会議体を活用し、データに基づくPDCAサイクルを継続的に回す仕組みとして実効性があるか。	20
	9	改善計画の策定	支援対象企業がDXの実現に向けて、支援終了後も継続的にデータドリブン経営を推進していくための改善計画の記載項目等について、その考え方とともに具体的に記載すること。	支援期間中の成果や課題を踏まえた実効性の高い改善計画の策定に繋がるか。支援期間終了後も、支援対象企業自らが継続的にデータドリブン経営を推進していくことが期待できる内容か。	10
	10	事例報告会の開催	支援対象2社による事例報告会の設計案を記載すること。特に、他の中小企業が「自社でも取り組む」と感じられるよう、課題、試行錯誤、失敗や改善の過程をどのように引き出し、分かりやすく発信するかを記載すること。	市内中小企業のデータ活用・DX推進の機運醸成に繋がる内容か。	10